

東北地方 1 か月予報

(2月6日から3月5日までの天候見通し)

平成22年2月5日
仙台管区气象台発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半を中心に気温の変動が大きい見込みです。

<予想される向こう1か月の天候>

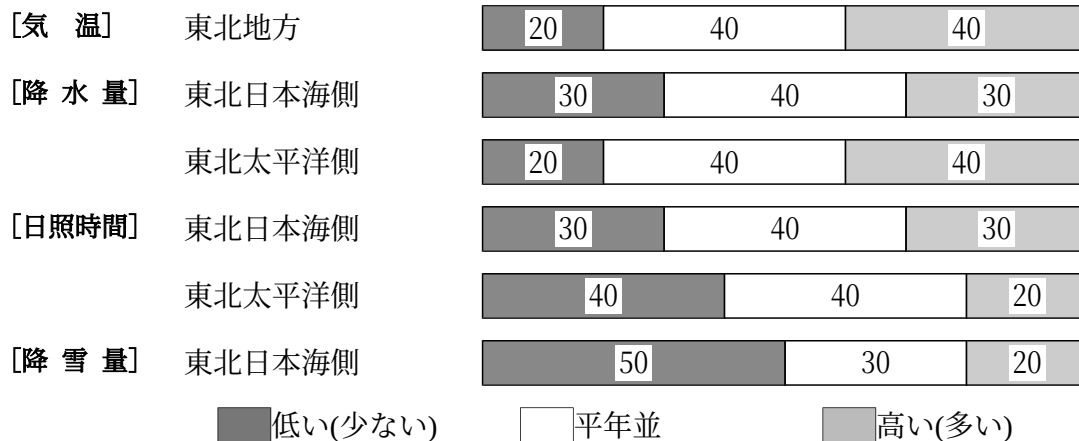
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

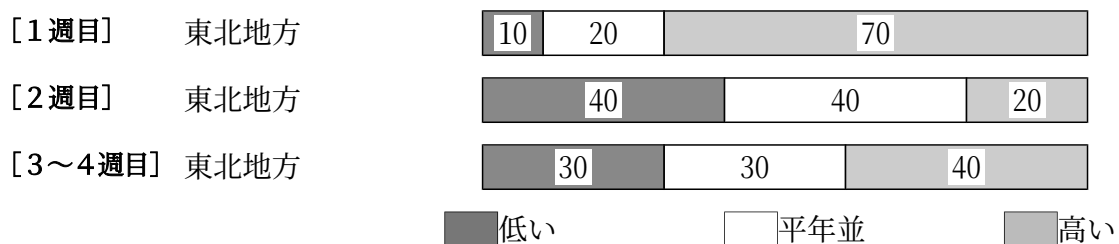
向こう1か月の平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。降水量は東北太平洋側で平年並または多い確率がともに40%です。日照時間は東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに40%です。東北日本海側の降雪量は少ない確率が50%です。

週別の平均気温は、1週目は高い確率が70%、2週目は平年並または低い確率がともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>



<予報の対象期間>

1 か月 : 2月 6日(土) ~ 3月 5日(金)
1 週目 : 2月 6日(土) ~ 2月12日(金)
2 週目 : 2月13日(土) ~ 2月19日(金)
3~4 週目 : 2月20日(土) ~ 3月 5日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月12日

3か月予報：2月25日（木） 14時

暖候期予報：2月25日（木） 14時

＜参考資料（平年並の範囲等）＞

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3～4 週目の平均気温）

	気 温 (℃)	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温(℃)		
					1 週目	2 週目	3～4 週目
青森	-0.7	103.7	80.7	182	-1.6	-1.1	-0.1
深浦	0.1	74.6	55.8	104	-0.6	-0.2	0.6
むつ	-1.2	81.9	98.9	159	-2.0	-1.6	-0.6
八戸	-0.5	49.8	135.0	97	-1.3	-0.9	0.1
秋田	0.5	90.3	72.8	107	-0.2	0.2	1.1
盛岡	-1.1	55.7	132.2	90	-2.1	-1.5	-0.5
大船渡	1.2	56.5	142.1	28	0.5	0.9	1.7
宮古	0.6	75.9	152.4	67	-0.1	0.3	1.0
仙台	2.1	48.1	152.6	28	1.4	1.9	2.6
石巻	1.3	43.4	163.3	21	0.6	1.0	1.8
山形	0.2	65.1	105.3	134	-0.5	-0.2	0.7
新庄	-0.6	132.2	63.5	218	-1.2	-0.9	-0.1
酒田	1.8	106.9	67.9	106	1.2	1.5	2.3
福島	2.2	50.0	147.5	60	1.4	1.9	2.7
若松	0.0	64.2	101.7	143	-0.7	-0.3	0.6
白河	0.9	42.7	154.9	47	0.1	0.6	1.3
小名浜	4.0	61.2	172.2	0	3.4	3.8	4.5

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にしてください。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差(℃)	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.5～+0.6	79～112	97～104	76～118
東北日本海側	-0.5～+0.5	93～108	92～106	89～118
東北太平洋側	-0.4～+0.6	62～121	98～104	68～120

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3～4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北地方	-0.7～+0.9	-0.9～+1.0	-0.6～+0.6
東北日本海側	-0.7～+0.9	-0.9～+1.0	-0.7～+0.6
東北太平洋側	-0.7～+0.9	-0.9～+1.0	-0.6～+0.7

＜参考資料（利用上の注意）＞

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間における各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10％以下や 60％以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 22 年 2 月 5 日 仙台管区气象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (2 月 6 日～3 月 5 日) :

気圧の谷が数日の周期で通過し、気圧の谷の通過後は一時冬型の気圧配置となるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

期間の前半を中心に気温の変動が大きい見込みです。

平均気温は平年並または高い確率がともに 40% です。

1 週目 (2 月 6 日～2 月 12 日) :

期間のはじめと終わりは気圧の谷や寒気の影響で雪や雨の降る日がありますが、その他の日は東北太平洋側を中心に晴れるでしょう。なお、期間のはじめは、強い冬型の気圧配置となって、大荒れとなるおそれがあります。

平均気温は高い確率が 70% です。

2 週目 (2 月 13 日～2 月 19 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並または低い確率がともに 40% です。

3～4 週目 (2 月 20 日～3 月 5 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いですが、一時気圧の谷の影響を受けるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

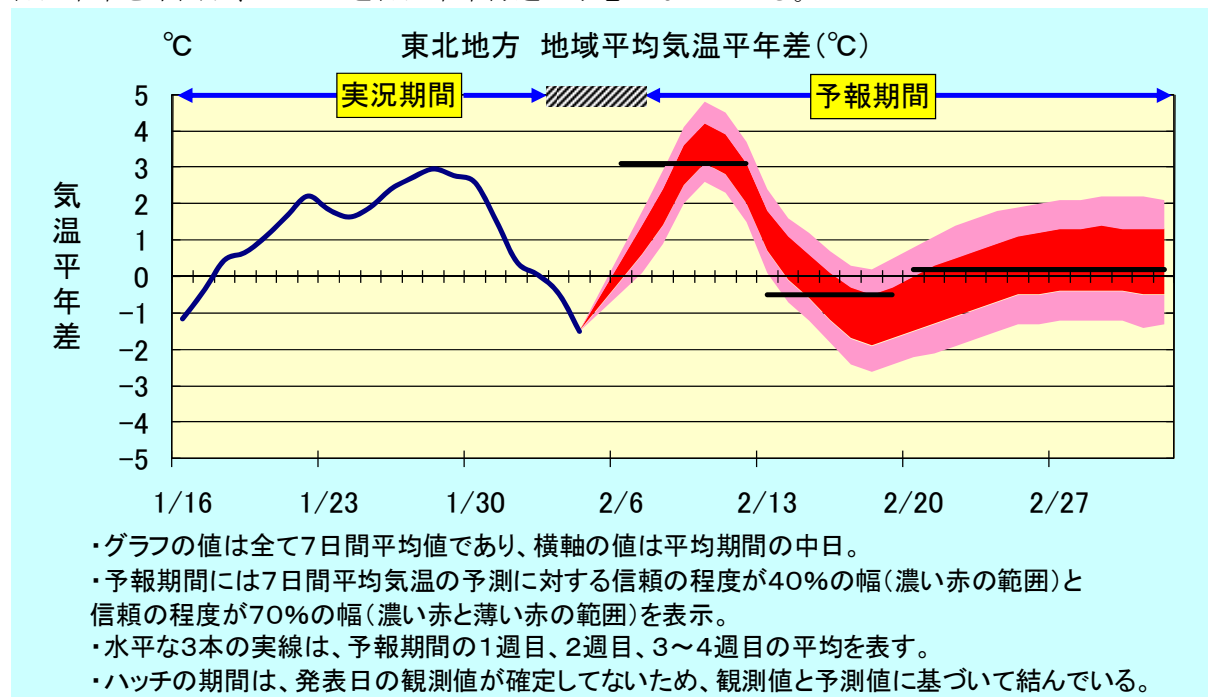
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	7.2 日	1.4 日	1.7 日	4.1 日
東北太平洋側	17.8 日	4.7 日	4.4 日	8.7 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1 週目は平年を大きく上回り、2 週目は平年を下回り、3～4 週目は平年付近の予想となっている。

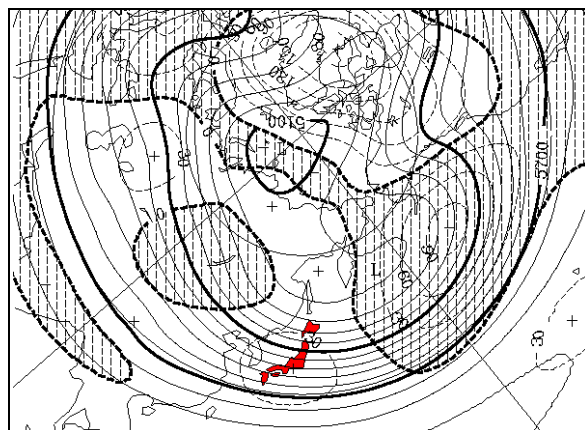


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

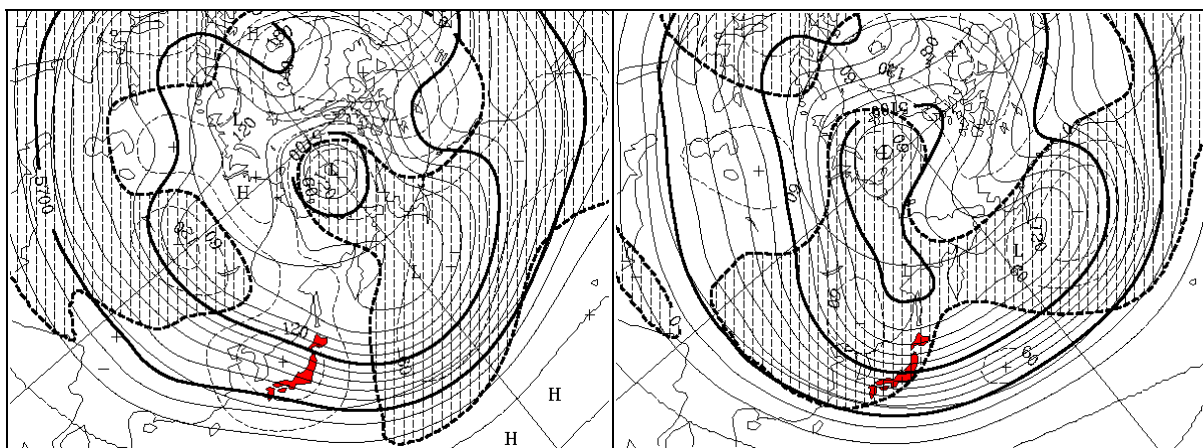
1か月平均: 日本付近を中心に正偏差におおわれるが、これは1週目の顕著な偏差パターンを反映したもので、週によっては日本付近が負偏差となる時期もあり、気温の変動が大きいと予想される。

1週目: 日本付近は日本海を中心とした正偏差におおわれる。正偏差の偏差も大きく、高温が予想される。

2週目: 日本の東海上は正偏差だが、日本付近は中国東北区を中心とした負偏差におおわれる。寒気の影響で低温が予想される。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

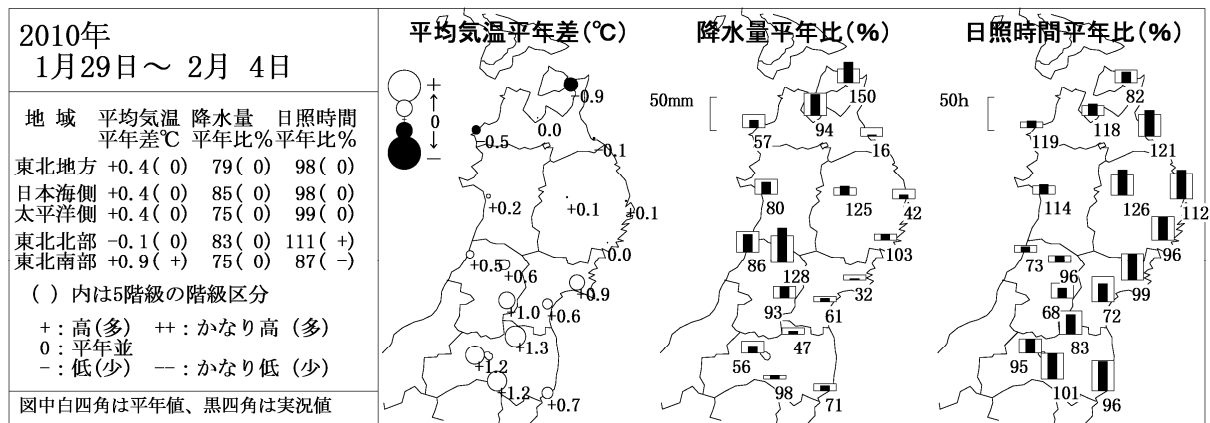
実線は、等高度線（間隔60m）、点線は、平年差（間隔60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（1月29日～2月4日）の天候の経過

期間の前半は冬型の気圧配置が緩み、東北日本海側でも晴れたところがあった。期間の後半は、1日に低気圧が日本の南岸を通過後、冬型の気圧配置となり、東北日本海側は曇りや雪または雨、東北太平洋側は沿岸部を中心におおむね晴れた。また、期間の前半は南よりの暖かい空気が入り高温となったが、期間の後半は寒気の影響で低温となるなど気温の変動が大きかった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で高い。降水量は東北地方で平年並。日照時間は東北北部で多く、東北南部で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）